



参考資料

トレーナー派遣の意義



医学的知識を持ったトレーナーをチーム・試合会場へ派遣

選手が負傷を負った時には適切な応急処置をトレーナーが現場で行い、
精査が必要な時には提携している医療機関と連絡を取り、
可能な限り敏速に診察・検査が受けられるシステムを構築する

けがの予防、コンディショニング管理・指導、パフォーマンス向上への手助け

特に、怪我や事故が起こりにくい環境を整備する
チームスタッフや選手を競技に専念させ、
ひいてはパフォーマンスの向上をサポートする

年に1回の講習（座学）だけでは効果は乏しい
月2回（2週間に1回くらい）の現場指導でやっと効果が出る
（第29回日本臨床スポーツ医学会）

メディカルサポートの例 ①



【シーズン前】

メディカルチェック（選手全員）：身体の異変をチェックし、より詳しい検査が必要な場合は、医療機関へ照会・同時に必要なトレーニングメニューを作成し、配布する

【シーズン中の日々の業務】

練習前：水分給水のための準備などを行う、練習前の選手の状態チェック、練習前トリートメント（テーピング、ストレッチ）

練習中：練習現場にて怪我が起こったときの応急処置や対応を行う、怪我をしている選手へのリハビリテーション提供
日頃の練習やトレーニングに役立つ身体の知識などの講習&指導を行い、努力が成果につながられるようにサポートする

怪我した選手へのSOAPノート作成（怪我評価）と対処指示

練習後：片付け、大きな怪我が起こった場合には適切な医療機関への紹介や、救急車手配など

【オフシーズン】

リハビリが必要な選手へのリハビリテーション・手術が必要な選手の医療機関紹介



ヴィッセル神戸アカデミー



アカデミーのコンセプト

- ・ボールを大切に保持し、主導権を握る
- ・攻守ともに攻撃的なアクションサッカー

U-18

- ・チーム戦術を理解、実践し、プレーの正確性ととも
スピードアップとパワーアップを追求する
- ・謙虚な自立した人間で、かつ社会のリーダーと成り得る人材を育成する



U-15

- ・グループ戦術を理解、実践し、サッカーの全体像（セオリー）を把握する
- ・自己の確立を図りながら、仲間と協力して成し遂げる喜びを習得する
- ・体の成長と心の成長のバランスをとりながら、逞しい選手となる土台を築く

U-12

- ・サッカーの面白さを追及し、楽しいプレーと同時にパーフェクトスキルの習得を目指す
- ・良い生活習慣の確立を図る
- ・好奇心旺盛かつ負けず嫌い、練習好きな選手へ向けた基礎を築く

ヴィッセル神戸アカデミーにおける メディカルサポート（2018）



試合中のみならず練習中の外傷と障害のすべてを管理すべく、傷害発生時には極力提携診療所を受診させるようにしている。

選手寮にはトレーナー（U-18）が常在し、内科的な問題点も含めて直ちに対応できるようにしている。

入寮時には、X線撮影（胸部）や血液検査を行い、メディカルチェックを行う。

遠征先や学校内で傷害が発生した場合は、やむを得ず近医にて初期治療を受けることもありうるが、できるだけ早期に提携診療所を受診させ再評価を行うようにしている。

診察時の所見と治療方針は、選手および家族の了解を得た上で、電子メールを用いて強化部、コーチングスタッフ、メディカルスタッフと情報を共有するようにしている。

（治療経過についても同様）

